

2024年度 第1四半期 決算説明資料

2024年8月7日
日本製紙株式会社



とともに未来を拓く

連結損益概要

(億円)

	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	2,874	2,870	▲4	▲0.1%
営業利益	8	41	33	409.3%
経常利益	4	50	46	1,292.1%
当期純利益*	▲53	▲11	42	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

- 売上高は、紙・板紙事業の需要減少影響があるものの、輸出の拡販によって前年同期並み。
- 営業利益は、製品の価格修正や原価改善の効果が発現し増益。
- 特別損益は、Opal社の事業構造改善費用を計上。

セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年 同期比	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年 同期比
紙・板紙	1,433	1,419	▲14	2	24	22
生活関連	1,068	1,083	15	▲23	▲20	3
エネルギー	137	115	▲22	5	5	0
木材・建材・ 土木建設関連	167	184	17	23	22	▲1
その他	69	69	0	1	10	9
合計	2,874	2,870	▲4	8	41	33

増減要因内訳

(億円)

		紙・板紙事業		生活関連事業	
数量・売価	17	0	－	17	－
原燃料価格	12	11	チップ ▲14、古紙 ▲7、パルプ ▲1、 重油 ▲5、石炭 38、LNG 2、薬品他 ▲2 (価格影響 49、為替影響 ▲38)	1	パルプ ▲1、石炭 2、 薬品他 0
コストダウン等	▲3	▲3	原価改善8、労務費▲3、物流費▲8	0	－
その他	▲1	14	海外事業 13、減価償却 5、退職給付費用 9、 受払影響 4、その他 ▲17	▲15	海外事業▲13、減価償却▲3、 受払影響ほか 1
合計	25	22	国内 9、海外 13	3	国内 16、海外 ▲13
その他事業	8	エネルギー 0、木建土 ▲1、その他 9			
営業利益	33				
営業外損益	13	金融収支 3、持分法投資損益 11、為替差額 ▲8、その他 7			
経常利益	46				

紙・板紙事業

(億円)

売上高			営業利益		
2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年同期比	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年同期比
1,433	1,419	▲ 14	2	24	22

- 国内
 - ・洋紙と板紙の国内販売数量は、需要が低調に推移し、前年同期比で減少。
 - ・石炭価格が下落したことや原価改善の効果が発現したことなどにより、前年同期比で増益。
- 海外
 - ・十條サーマル(JTOy)は、欧州における感熱紙の需要が回復したことにより、営業利益は黒字に転じた。

生活関連事業

(億円)

	売上高			営業利益		
	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年 同期比	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年 同期比
国内	503	527	24	14	30	16
海外	565	556	▲9	▲37	▲50	▲13
合計	1,068	1,083	15	▲23	▲20	3

パッケージ 1、ケミカル 12
家庭紙・ヘルスケア 3

Opal ▲10、NDP ▲4、TSP 1

- 国内
 - ・溶解パルプ(DP)や、機能性コーティング樹脂などの販売数量は増加。
 - ・ティッシュやトイレットロール、液体用紙容器などの販売数量は減少。
 - ・製品の価格修正が寄与したことで、増収増益となった。
- 海外
 - ・Opalは、輸出販売価格の下落や為替影響によって、前年同期比で減益となった。
 - ・日本ダイナウェーブパッケージング(NDP社)は、寒波による操業不調などのため、減益となった。

エネルギー事業

(億円)

売上高			営業利益		
2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年 同期比	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年 同期比
137	115	▲22	5	5	0

・石炭価格の下落に伴う販売電力価格の低下によって前年同期比で減収となった。

木材・建材・土木建設関連事業

(億円)

売上高			営業利益		
2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年 同期比	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年 同期比
167	184	17	23	22	▲1

・新設住宅着工戸数が減少したものの、燃料チップの取扱量が増加したことなどにより、増収減益となった。



連結損益概要

(億円)

	2023年度 実績	2024年度 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	11,673	12,000	327	2.8%
営業利益	173	230	57	33.2%
経常利益	146	190	44	30.6%
当期純利益*	227	30	▲ 197	▲ 86.8%

* 親会社株主に帰属する当期純利益

■ 2024年度の業績予想は、2024年5月15日に公表した内容から変更ありません。



拠点		設備	生産能力(千t/年)		生産品種	予定時期
白老工場	停機	8号抄紙機	64千t		上質紙・晒クラフト紙	2025年9月末
	停機	N2抄紙機	232千t		新聞用紙	2025年6月末
八代工場	停機	9号ボイラー(石炭専焼)	—	—		2025年11月末
	稼働	抄紙機	—		家庭紙	2027年度

- グラフィック用紙の需要減少加速に対応し、新たな生産体制再編成案を決定
八代工場において輸出を中心とした家庭紙事業の展開を決定
- 停機に伴う効果と影響
 - ・減損損失： 現在精査中(2024年度第2四半期にて計上予定)
 - ・人員措置： 停機設備に係る従業員は原則として各工場内での雇用を継続
 - ・固定費削減による改善効果： 約20億円(施策完了後の2026年度までに発現)
 - ・GHG排出量削減： 八代工場での石炭使用量はゼロ(9号ボイラー停機後)
 - ・生産： 停機設備で生産している製品は、両工場を含めた当社での生産を継続

参考資料

日本製紙株式会社



セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2023年度 実績	2024年度 予想	前年 同期比	2023年度 実績	2024年度 予想	前年 同期比
紙・板紙	5,702	5,650	▲52	117	130	13
生活関連	4,368	4,800	432	▲81	▲20	61
エネルギー	537	500	▲37	16	20	4
木材・建材・ 土木建設関連	755	750	▲5	98	75	▲23
その他	311	300	▲11	23	25	2
合計	11,673	12,000	327	173	230	57

主要な前提条件

■国内販売数量(対前年)

	上期	下期	通期
新聞用紙	▲9%	▲8%	▲9%
印刷用紙	▲12%	▲3%	▲8%
情報用紙	▲5%	▲3%	▲4%
段原紙	▲1%	3%	1%

■主要原材料価格、為替

	通期
為替(米ドル)	155円/ドル
為替感応度	米ドル1円円高で+7億円/年
石炭	現状の調達計画を勘案 (豪州炭ベンチマーク価格:145.95ドル/t)
原油	90ドル/バレル(ドバイ)
古紙	足元の価格動向を勘案



増減要因内訳

(億円)

			紙・板紙事業	生活関連事業
数量・売価	73	▲21	—	94
原燃料価格	▲88	▲60	チップ ▲80、古紙 ▲22、パルプ ▲2、 重油 ▲15、石炭 97、LNG ▲2、薬品他 ▲36 (価格影響 19、為替影響 ▲79)	▲28 チップ 2、パルプ ▲13、 薬品他 ▲17
コストダウン等	21	33	原価改善 82、労務費 ▲23、物流費 ▲26	▲12
その他	68	61	海外事業 29、減価償却 16、退職給付費用 39、 その他 ▲23	7 海外事業 44、その他 ▲37
合計	74	13	国内 ▲16、海外 29	61 国内 17、海外 44
その他事業	▲17	エネルギー 4、木建土 ▲23、その他 2		
営業利益	57	国内：パッケージ 1、ケミカル 16、 家庭紙・ヘルスケア 0 海外：Opal 59、NDP ▲15、TSP 0		

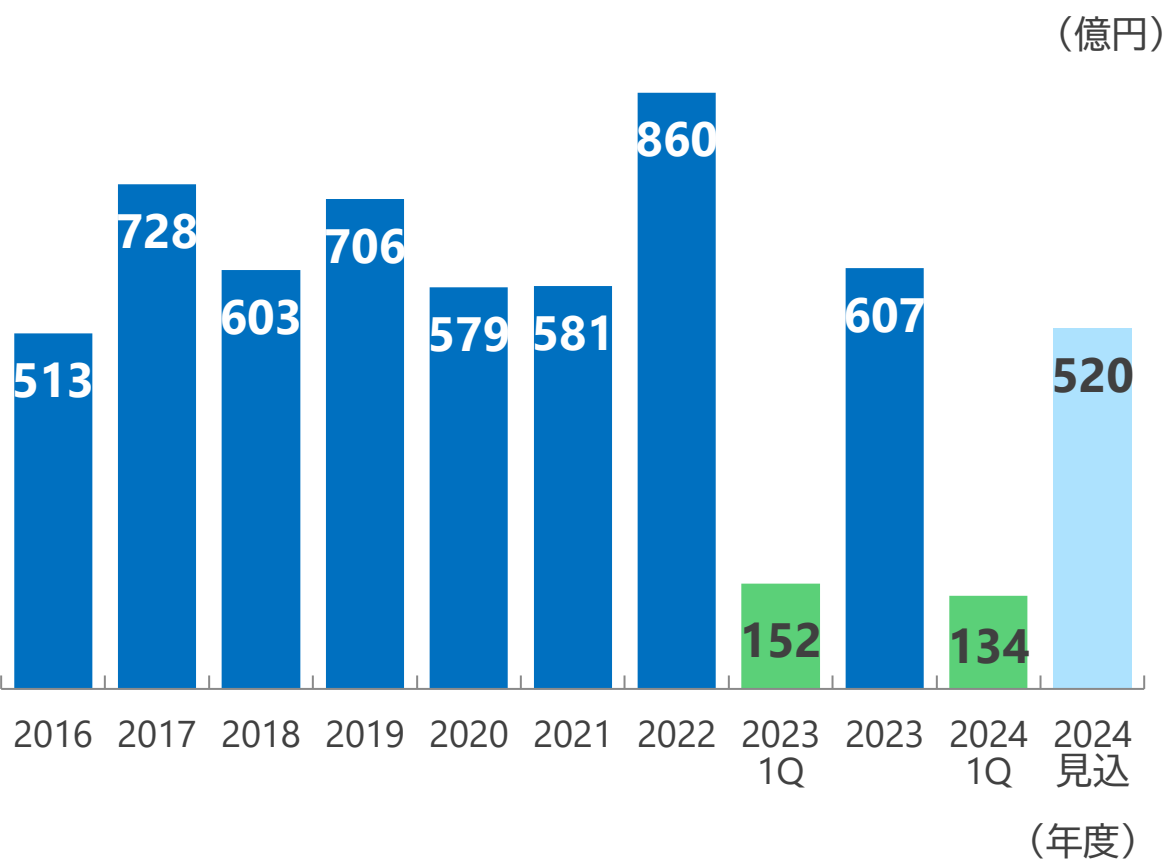
(千t)

	2023年度 1Q	2024年度 1Q	対2023 1Q
新聞用紙	136	120	▲12.1%
印刷用紙	236	204	▲13.5%
情報用紙	96	93	▲3.6%
その他	73	74	1.0%
国内	542	491	▲9.4%
輸出	40	58	45.9%
洋紙 合計	581	549	▲5.7%
段ボール原紙	400	387	▲3.3%
紙器用板紙他	81	78	▲3.5%
国内	481	465	▲3.3%
輸出	32	31	▲2.4%
板紙 合計	512	496	▲3.3%
洋紙・板紙 合計	1,094	1,044	▲4.5%

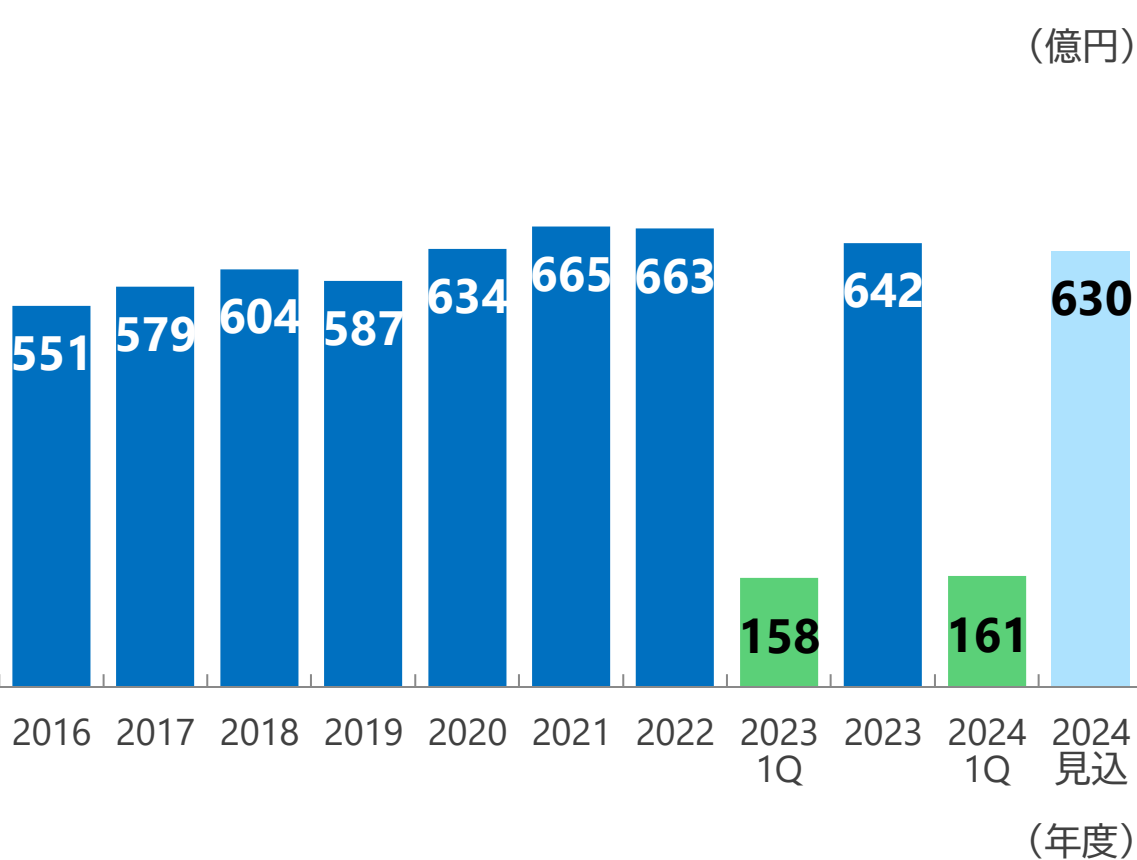
* 日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計(衛生用紙除く)

設備投資額・減価償却費

設備投資額*



減価償却費



*建仮計上ベース

セグメント別 売上高推移

(億円)

	2023年度				2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	通期予想
紙・板紙	1,433	1,431	1,442	1,396	1,419	5,650
生活関連	1,068	1,117	1,100	1,083	1,083	4,800
エネルギー	137	146	109	145	115	500
木材・建材・ 土木建設関連	167	195	176	217	184	750
その他	69	76	79	87	69	300
合計	2,874	2,965	2,906	2,928	2,870	12,000

セグメント別 営業利益推移

(億円)

	2023年度				2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	通期予想
紙・板紙	2	37	42	36	24	130
生活関連	▲23	▲27	▲10	▲21	▲20	▲20
エネルギー	5	▲3	▲5	19	5	20
木材・建材・ 土木建設関連	23	29	15	31	22	75
その他	1	5	2	15	10	25
合計	8	41	44	80	41	230

紙・板紙の国内出荷高と輸出入(2024年度第1四半期)

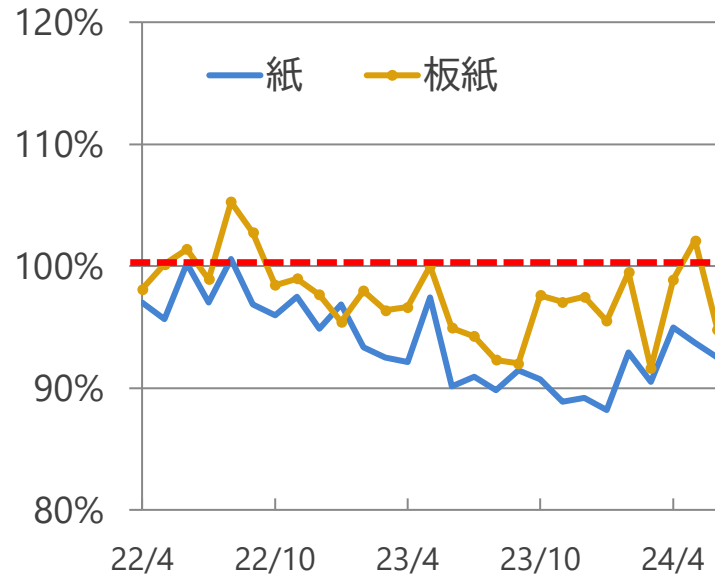
(千t)

	国内出荷高		輸出		輸入	
	数量	対2023	数量	対2023	数量	対2023
新聞用紙	371	▲10.3%	0	—	0	▲63.7%
印刷・情報用紙	1,128	▲9.5%	164	49.0%	128	▲3.7%
塗工印刷用紙※	581	▲12.7%	123	45.6%	21	▲24.8%
非塗工印刷用紙	307	▲5.5%	28	36.4%	3	▲0.7%
情報用紙	240	▲6.0%	13	161.5%	105	2.1%
その他	739	1.5%	67	18.1%	11	▲6.9%
紙 合計	2,237	▲6.3%	230	38.5%	139	▲4.1%
段ボール原紙	2,185	▲1.9%	203	11.4%	6	31.4%
紙器用板紙他	495	0.3%	11	8.4%	56	4.5%
板紙 合計	2,681	▲1.5%	214	11.2%	62	6.7%
紙・板紙合計	4,918	▲3.7%	444	23.9%	201	▲1.0%

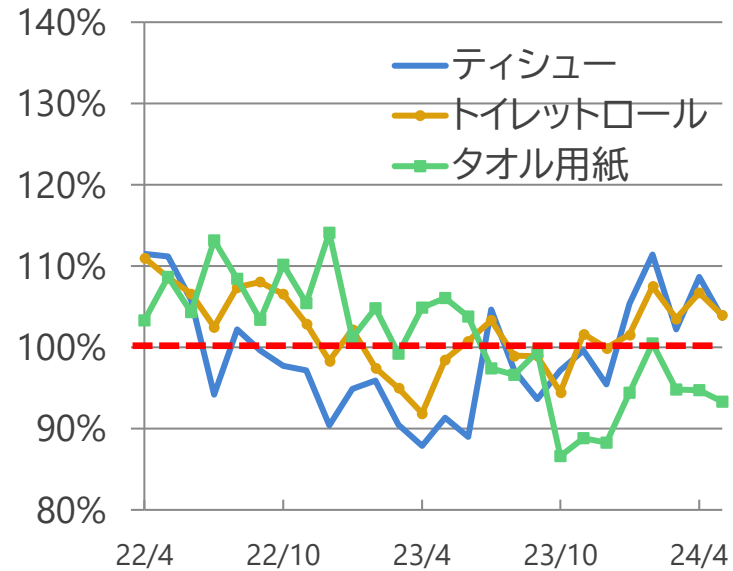
※塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

出所：日本製紙連合会、財務省貿易統計

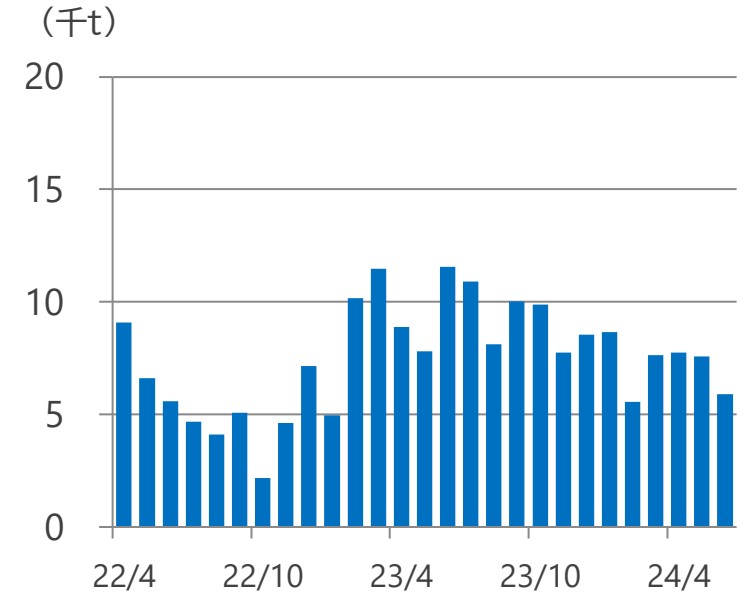
メーカー国内出荷量(対前年)



衛生用紙生産高(対前年)



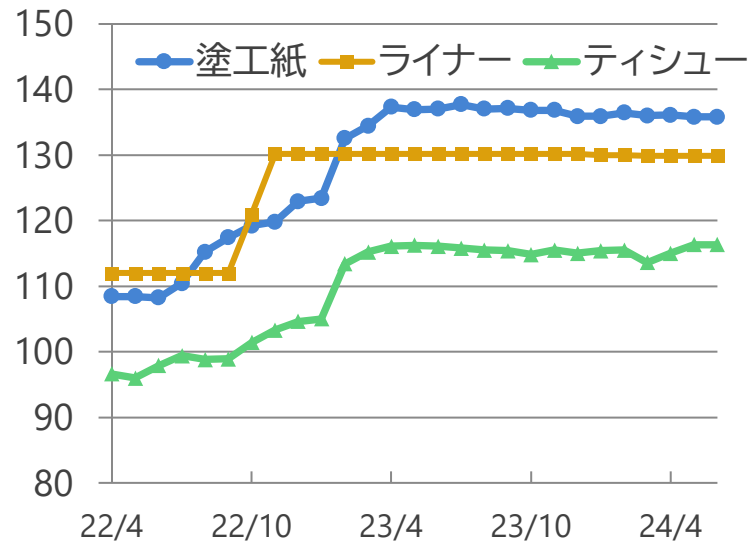
塗工紙輸入推移



出所: 日本製紙連合会、経産省生産動態統計、財務省貿易統計

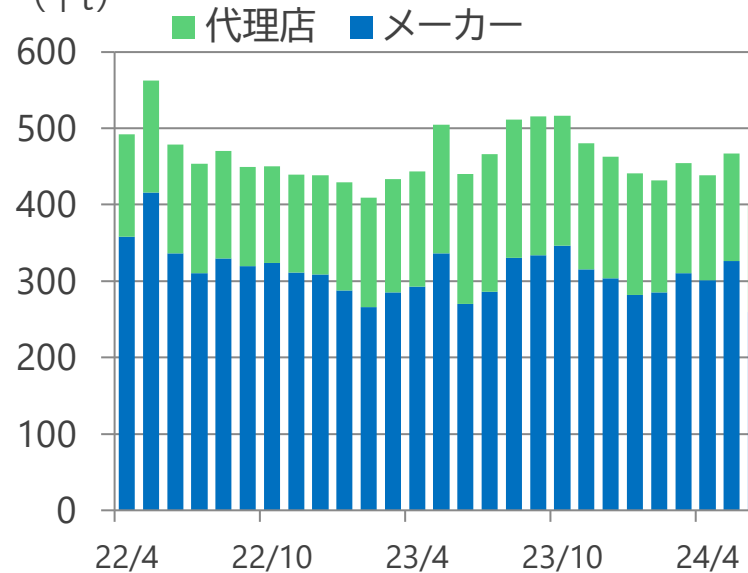
品種別価格動向

(2020年 = 100)



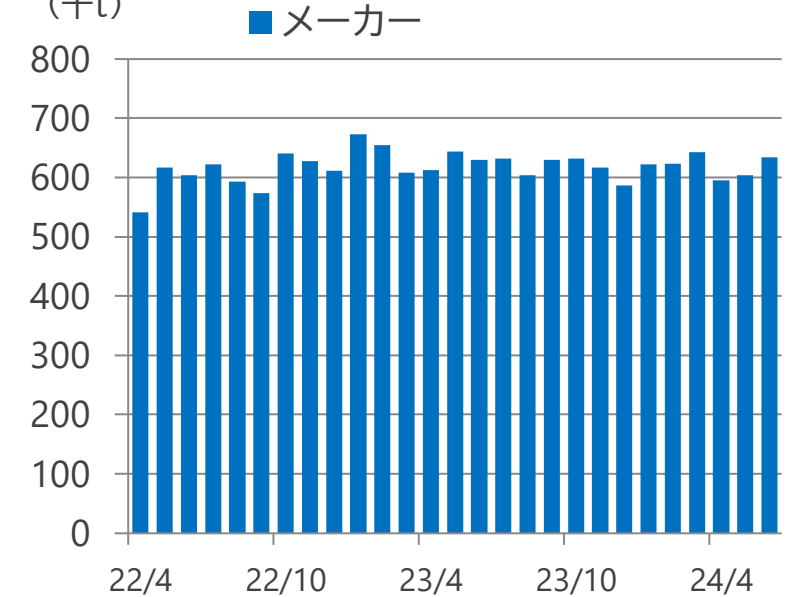
塗工紙在庫高推移

(千t)



段原紙在庫高推移

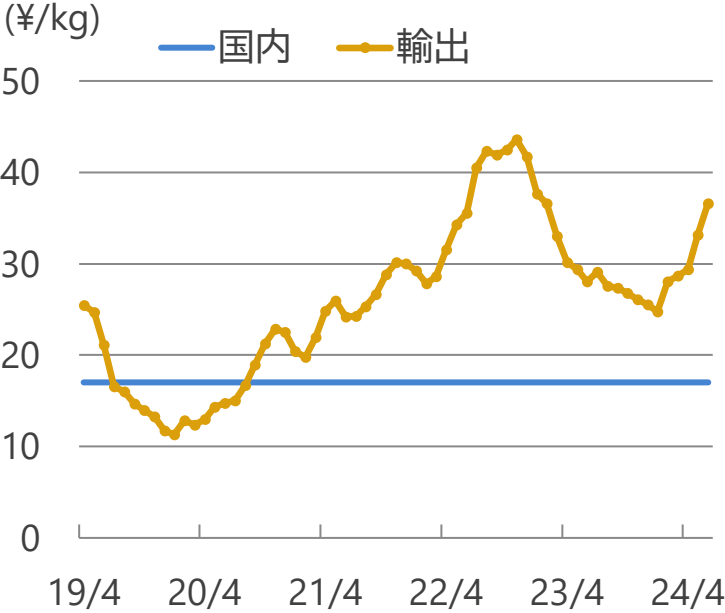
(千t)



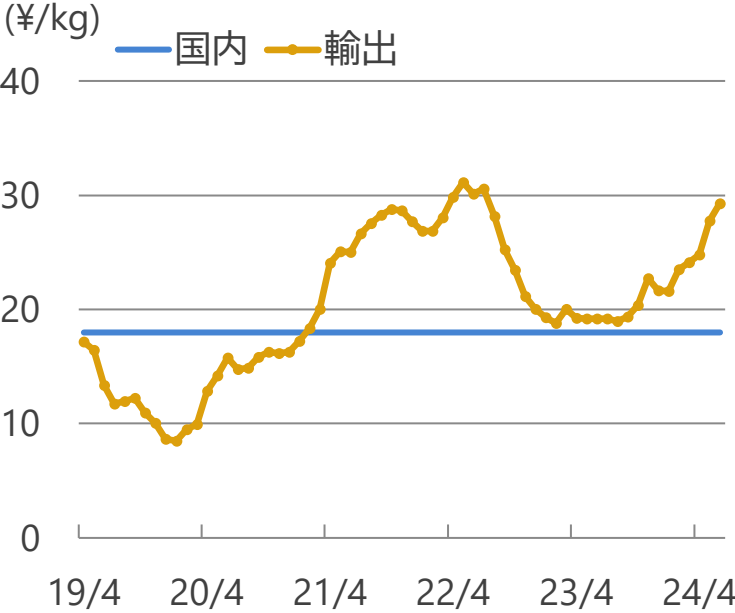
出所: 日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」

主要原燃料価格推移

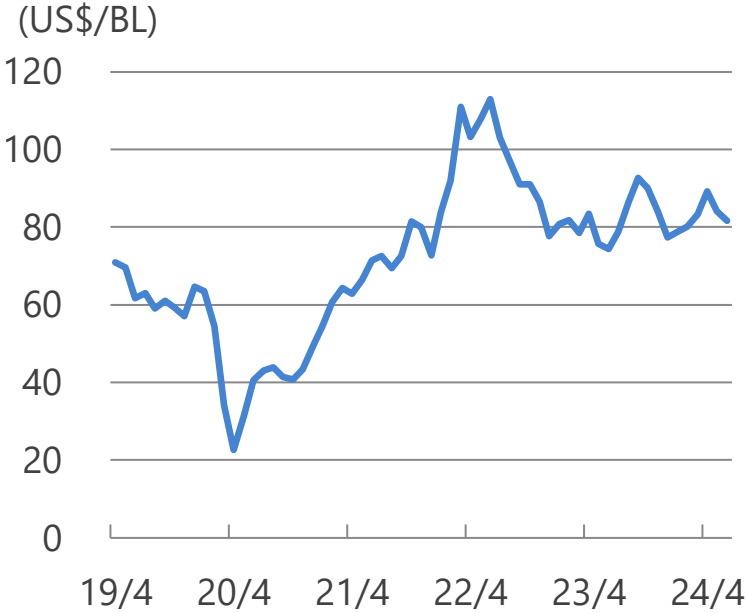
新聞古紙



段ボール古紙



原油



出所：古紙再生促進センター、財務省貿易統計、日本経済新聞

日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

<注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

日本製紙株式会社